

相談課 更新



73号

教育相談課について

教育相談課では「安心して相談できる場」の提供が一番大切だと考えています。深刻な相談だけでなく、ささいな気がかりであっても、気軽に相談してください。面接相談と、電話相談の両方を行っています。また、生徒の皆さんからの相談だけでなく、保護者の皆様からのご相談にも対応させていただきます。相談活動は次のような方針で行っています。



①相談に来た人のペースを尊重します

無理に話をさせられたり、解決方法を強要されることはありません。あくまでも相談に来た人が主人公です。

②秘密は厳重に守られます

相談をする過程で知り得た個人に関わる情報や、相談の内容は、相談に来た人の了解なしに第三者に（例えば、担任の先生・顧問の先生などでも）話すことはありません。ただし、命にかかわるような場合や犯罪に巻き込まれる可能性が予測される場合は例外です。しかし、このような場合もできるだけ本人の了解を取ることを基本としています。

③気持ちを大切に、共に考える姿勢で対応します

相談に対して、魔法のような解決策が用意できるわけではありません。悩みを解決できないなら相談しても仕方がないと思われる方もおられるでしょう。しかし、私たちは相談に来た人の気持ちを大切にしながら、これからどうすればよいかを共に考えることはできると考えています。今の在り方を受け入れることからまず始めて、本人の意志を尊重しながら、共に考える姿勢で取り組んでいます。

④予防的・開発的教育相談も提供します

教育相談として一般的に考えられている悩み相談やカウンセリングなどは、問題解決的教育相談といえます。相談課では、こういった取り組みのほかに、リラクゼーションや自己理解、コミュニケーションスキルなど、予防的・開発的教育相談も紹介しています。これらは、よりよく生きていくための指針になったり、問題が発生するのを未然に防ぐことに役立つものです。

⑤特別支援の観点からも細やかに対応します

特別支援教育コーディネーターを中心に、スクール・カウンセラー、学校医、スクールソーシャルワーカー、相談課のスタッフおよび担任など、関係の先生方と連携することでより効果的な支援ができるように対応します。

カウンセリング事業

★学校医によるこころの健康相談

本校では精神科校医の千田真友子先生による「こころの健康相談」を計画し、専門のお立場からのアドバイスやご支援をいただいています。本年度は以下の4回を計画しています。各回、文書でご案内をしています。

5 / 3 1 (水) ・ 6 / 2 2 (木) ・ 1 0 / 4 (水) ・ 1 1 / 2 9 (水)

★スクール・カウンセラーによる相談

スクール・カウンセラーによる相談は年間14回実施します。スクール・カウンセラーをお願いしている大西由美先生は、本校を卒業され、国語教諭としても16年間勤務されました。その間、教育相談課長も務められ、本校生徒の悩みに一番長く寄り添ってこられた先生とも言えます。現在は臨床心理師として、大学の相談室や他の県立高校でもカウンセラーとして活躍されています。今後の来校予定は次のとおりです。

6/13(火) 6/27(火) 8/29(火) 9/19(火) 10/10(火) 10/24(火)
11/20(月) 12/19(火) 1/16(火) 1/30(火) 2/13(火) 3/18(月)

スクール・カウンセラーの来校日については、学期ごとに教室掲示でお知らせしています。やむを得ず変更になる場合も、教室掲示での連絡になりますので、保護者の方で申し込まれる場合は、予約時に確認をお願いします。

※「こころの健康相談」、 「スクールカウンセラーによる相談」は時間の調整が必要なため、どちらも予約をいただいています。ご希望の場合は、教育相談課（北村博典・山下知子）または担任までお知らせください。

TEL 086-272-1271（岡山朝日高校）

ピア・サポート活動

★支え合う心を育て、あたたかな学校風土作りを目指します

本校では、生徒の間に相互支援の力を育てるピア（仲間）サポート（支援）活動を平成19年から実施しています。この活動を通じて、生徒が自己肯定感を高め、他者を尊重し（自重互敬）、いじめや不登校の起こりにくい、あたたかい風土が築かれることを目指しています。

※教育相談課では、心理検査 hyper-QU（1年生対象 7月実施）、いじめ悩み調査（3年生は5月、1, 2年生は9月実施）等の調査も実施しています。「いじめ・悩み調査」実施後は気になる事案への早期対応と教員間での情報共有をしています。調査の結果については、相談課だより12月号で報告させていただく予定です。

学校以外の相談機関

新しい生活環境での悩みや不安だけでなく、制限された学校生活が続いていることで、様々なストレスを抱えていることも考えられます。

そうした不安や悩みを受け止めてくれる相談機関は、学校以外にもあります。

青少年総合相談センター
岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ4階

◆**教育相談** 086-221-7490
相談日：年中無休(年末年始を除く)
電話相談：8:30～12:00、13:00～17:00
面接相談：10:00～12:00、13:00～16:00
(要予約)

◆**進路相談** 086-224-1121
相談日：月～土曜日(年末年始を除く)
電話相談：12:00～18:00
面接相談：13:00～17:00
(要予約)



●岡山後援館中・高
●裁判所
●国道53号線
●北酒訪署
●太田大通り
●県立美術館
●柳川交差点

24時間子供SOSダイヤル
0120-0-78310
※通話料無料

岡山県総合教育センター
加賀郡吉備中央町吉川7545-11

教育相談専用電話

◆**生徒指導** 0866-56-9115
◆**特別支援教育** 0866-56-9117

相談日：月～金曜日(祝日・年末年始を除く)
電話相談：月・水・木・金 9:00～12:00、13:00～17:00
火 13:00～17:00
面接相談：月・水・木・金 9:00～12:00、13:00～17:00
(要予約) 火 13:00～17:00



生徒の皆さんは
もちろん、保護者の
方も相談できます。

相談課教員 自己紹介 各学年団にも話しやすい先生がおられます。気軽に相談してください。

岸本 史雄 *Fumio Kishimoto* (補習科 3年・英語)

今年はほぼ楠友館(補習科棟)につめていますので、授業以外では皆さんにお会いする機会が少ないかもしれません。朝日高校は先生方も生徒の皆さんも日々忙しく動き回らなければならない学校です。ホッと一息つける時間が多少でもあるといいですね。上手に時間を使って、リラックスできるときは存分に体と心を休めましょう。

信宮 優子 *Yuko Shingu* (3年I組乙担任・英語)

我が家の花壇の脇には鋭いとげのある1.5mほどの高さの木があり、通りがかりの人が触つてけがをしないよう毎年GW中に少々枝を切る。思い返せばこれは娘と二人で植えた種から育った木だ。娘が小学生の時、給食に出た果物の種を終業まで口の中でこっそり転がして家まで持ち帰ったのだった。「せっかく大事に持って帰ったんだから植えてみる？」と笑いながら話して植えた。毎年5月に懐かしく思い出す。まだ実がならないので何の木だか？柑橘系には違いない。いつかは実がなるかしら？

烏谷 雄一 *Yuichi Karasutani* (2年H組甲担任・地理)

今年から朝日高校に赴任してきました。よろしくお願ひします。新しく学年が変わり、環境が変わると様々なストレスを感じることがあります。自分なりの発散方法をもっておくことはとても大事です。また、自分が本当に苦しいときに周囲にSOSが出せることも必要です。皆さんが辛いときに少しでもサポートができればと思います。

内田 康晴 *Yasuharu Uchida* (2年団)

ストレスをためないためには、気分転換が大切だと思います。一番良い気分転換は、遠くに旅することだと思うのですが、そう簡単には行けません。そこでYouTubeで旅動画を見るようになりました。東南アジアや南米の国々など日本と全く違う国々の日常を眺めると、今の自分の状況をいくらか俯瞰して、余裕を持って見られるようになる気がして、オススメです。

あと、何かの事情で数学の授業に遅れて、追いつきたいとき、遠慮無く相談に来て下さい。

山下 知子 *Tomoko Yamashita* (養護教諭・2年団)

朝日高校6年目。保健室の山下です。5月8日、新型コロナウイルス感染症が、ようやく感染症法の5類に移行されました。まだまだコロナ明けではないので、引き続き感染対策は求められますが、活動や交流の場が少しずつ広がっていくと思うと、込み上げるワクワクが止まりません。みなさんは、いかがですか？これからどんな高校生活を送りますか？朝日には、素敵な仲間がたくさんいます。心配し過ぎることなく、新たなチャレンジ、楽しんでくださいね。

柴田 みさえ *Misae Shibata* (1年G組乙担任・英語)

高校生の頃、実家で飼っていた猫を見るたび「猫はいいなあ、自由気ままで」と恨めしくさえ思っていました。気持ちよさそうに昼寝をしている猫にわざわざちょっかいを出していたのを覚えています。(その頃の私の手はひっかき傷だらけでした。)今は、つい最近我が家の裏口の物陰に暮らし始めた子猫と母猫をこっそり見ながら、どうしようかなと思案する毎日です。

五百蔵 愛 *Ai Ihoroi* (養護教諭・1年団)

この4月に岡山朝日高校に赴任しました五百蔵(いほろい)です。皆さん、それぞれに気がはりつめる新しい環境には慣れてきましたか？疲れが出てくる時期だと思います。心と身体はつながっているので、心も身体も疲れた時には立ち止まり、回復するお手伝いが少しでもできたらいいなと思っています。よろしくお願ひします。

北村 博典 *Hironori Kitamura* (1年A組乙担任・芸術 書道・教育相談課長)

当時まだ学生でしたが、『月光浴』という写真集が発刊され、私はその写真からカメラのレンズを通すと月の光は斯くも神秘的なものに写るのかと、驚かされたことを覚えています。その後まったく対照的な土門拳や、さまざまな写真芸術に触れ、その奥深さを教えられました。日々起こる些細な出来事を、あの月光のような光で眺めたらどのように映るのか、時折そんなことを思います。月の光とともに、私は硯の美しさにも魅入られている人間ですが、夜半、澄んだ光が差し込む机の上に、眠るように横たわる硯の美しさというものは、どこか最終的な美しさ、そのような類のものではないかと感じています。身のまわりにある美しいものを発見していきたいですね。